

# ポセイドン 灰 施工要領書

## 新設コンクリートへの施工について

### 1. 準備 下地処理について

コッ

ポセイドン(灰)は下地コンクリートに充分含水するように水で湿潤させ、**水分が退くタイミングで塗る**事で水和反応により、コンクリート内部に改良を施す改質防水材です。**乾きすぎに充分注意し、乾いた場合は霧吹き等で再度湿らせて塗って下さい。**打設後の左官金コテ均しの最終段階で使用する事をお勧め致します。

重要

下地に凹凸がある場合はモルタル等で不陸調整の上、ある程度平滑面にしておくことが大切です。

### 2. 練り混ぜ ポセイドン(灰)は分量を測って適正時間練り混ぜがポイント

基本

ポセイドン(灰)1kgに対して220~230ccの水の約半分をバケツに先に入れ、ポセイドンを入れて、残りの水を加え、かき回し棒やヘラでポセイドン全体に水を行き渡らせてから写真1のようにハンドミキサーで4分程度混ぜて下さい。**重要**  
この際ポセイドン(灰)内部の成分が水和反応によって、より性能を発揮できる状態へ変化していきます。重要な作業ですので、しっかり反応時間を計測するのがポイントです。



写真1

### 3. 塗り 塗りのタイミングと1回に使用する材料は30分程度とするのがポイント

コッ

ポセイドン(灰)は写真2のようにコンクリート打設後の左官金コテ均し最終段階で使用すると下地の**湿潤状態**が適正となり、コンクリート内部まで成分がよく行き渡る為、丈夫な防水皮膜を作ります。**重要**  
ポセイドン(灰)は練り混ぜた後、30分で硬化が始まりますので、30分程度で塗れる程度を一回の練り上げで作って下さい。1mm厚程度で十分性能を発揮します。



写真2

注意

材料が硬化し始めた場合は、バケツ内に霧吹きで水を吹きかけ練ってください。  
コテ仕上げ(フェニッシュ)の時に、材料が伸びない場合でも塗布面やコテに水を付けて仕上げないでください。

### 4. 硬化 塗って1時間程度で硬化

養生

塗布後3時間は自然乾燥してください。その後、表面が硬化したらビニールシートで雨や水が当たらないよう養生してください。養生期間は、夏2日程度、冬は5日程度です。  
コンクリートに塗った後、ポセイドン(灰)はコンクリート同様の硬化を始めます。  
ポセイドン(灰)は**コンクリート内部にも含浸して、防水性と耐候性に優れた綿密なコンクリートに変化**します。

#### LOOK!

- 注意1 霜点温度がマイナスの時、および昼夜5℃以下の環境下での施工はお控えください。
- 注意2 ポセイドン(灰)は成分が非常に小さいため吸い込みにご注意下さい。マスク着用をお願いします。
- 注意3 目や口に入った場合はすぐに洗い流してください。保護メガネ着用をお勧めします。
- 注意4 使用後は洗顔、うがい、手洗い等体に付着したままにならないよう気をつけて下さい。
- 注意5 使用後余った材料については法令に基づき処分して下さい。

#### ポセイドン(灰) 取り扱い上の注意

ポセイドン(灰)は無機質であり有害な物質を含んでおりませんが、以下に気をつけて使用して下さい。

#### ポセイドン 保管上の注意

- 注意1 直射日光を避け、湿気や水分の少ない場所に保管ください。
- 注意2 寒冷地で使用する際は、結露等に気をつけて保管ください。
- 注意3 開封後は余った材料を袋毎にビニール袋に保管し、湿気の無い場所に保管ください。

## 既設コンクリート工事への施工について

### 1. 準備 下地処理について

コッ

ポセイドン(灰)は下地コンクリートに充分含水するように水で湿潤させ、**水分が退くタイミングで塗る**事で水和反応により、コンクリート内部に改良を施す改質防水材です。**乾きすぎに充分注意し、乾いた場合は霧吹き等で再度湿らせて塗って下さい。**打設後の左官金コテ均しの最終段階で使用する事をお勧め致します。

重要

下地処理において、コンクリート面の露出(ウレタン材の除去、劣化コンクリートの粗磨き)はとても重要です。  
下地に凹凸がある場合はモルタル等で不陸調整の上、ある程度平滑面にしておくことが大切です。

### 2. 練り混ぜ ポセイドン(灰)は分量を測って適正時間練り混ぜがポイント

基本

ポセイドン(灰)1kgに対して220~230ccの水の約半分をバケツに先に入れ、ポセイドンを入れて、**残りの水を加え、かき回し棒やヘラでポセイドン全体に水を行き渡らせてから写真1のようにハンドミキサーで4分程度混ぜて下さい。**この際ポセイドン(灰)内部の成分が水和反応によって、より性能を発揮できる状態へ変化していきます。重要な作業ですので、しっかり反応時間を計測するのがポイントです。



写真1

### 3. 塗り 塗りのタイミングと1回に使用する材料は30分程度とするのがポイント

コッ

ポセイドン(灰)は写真2のようにコンクリートを**霧吹き等で湿らせてから**金コテで塗ってください。  
※湿潤の際、水がダレている際は少し待ってから塗って下さい。  
※水分と反応させることが重要ですので乾いた面をしっかりと湿潤状態にしてから塗ってください。  
1mm厚程度で十分性能を発揮します。



写真2

注意

材料が硬化し始めた場合は、バケツ内に霧吹きで水を吹きかけ練ってください。  
コテ仕上げ(フェニッシュ)の時に、材料が伸びない場合でも塗布面やコテに水を付けて仕上げないでください。

### 4. 硬化 塗って1時間程度で硬化

養生

塗布後3時間は自然乾燥してください。その後、表面が硬化したらビニールシートで雨や水が当たらないよう養生してください。養生期間は、夏2日程度、冬は5日程度です。  
コンクリートに塗った後、ポセイドン(灰)は**ゆっくりと含浸しながら硬化を始めます。**  
ポセイドン(灰)は**コンクリート内部にも含浸して、防水性と耐候性に優れた綿密なコンクリートに変化**します。

お問い合わせ ポセイドン® 日本総代理

株式会社 新機軸

〒902-0062 沖縄県那覇市字松川541-3 TEL 098-885-3210  
http://new-innovation.co.jp